

# 安全便り

安全就業委員長 茨目 隆

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様とともに新しい年を迎えられたことを大変うれしく思います。

6年度も＜安全第一 事故ゼロを目指そう＞を合言葉に無事故を目指しましたが、飛び石事故2件、灯油タンク燃料パイプ・水道メーター伝送線の切断が2件発生しました。

今後の対策として危険箇所場所には、作業中に必ず目に入る道路コーンの設置等を考えています。また熱中症対策では、個人でも組織でも対応していました。

無事故には、本人はもとより会員同士の目配り・気配りで事故防止の方策を講じ、健康の維持と安全の確保を図りながら就業をお願いします。

会員の皆様におかれましては事故の更なる減少に向け、今後とも引き続きご協力をいただきたくお願い申し上げます。

## ・ 交通安全講話

日時：令和6年11月26日（火） 14時00分～15時00分

場所：鷺別コミュニティーセンター 会議室

参加人員：31名

講師：室蘭警察署交通第1課 警部補 古賀 八州雄 氏

## 令和6年度道内で発生した死亡事故

令和6年7月上旬に道内において就業中の墜落による死亡事故が発生した。

事故内容は会員3名によるビニールハウスを設営する作業中、ポールの上部分ジョイントするために、トラクター後部のバケットに貯水槽タンクを載せ、その上にコンパネを敷いてその上に乗り作業していたところ、バランスを崩して頭部から落下したというもの。

**なお、落下した会員はヘルメットは未装着。**

このセンターでは令和6年4月にも脚立からの落下事故が発生したことから、会員へ注意喚起を行っていた。

就業していた会員達もこの4月の事故を承知していたため、脚立を使用しない手法を発注者と会員で協議し、コンパネの上で作業することとした模様。

※高所作業時は、重篤事故防止のために安全保護具を着用して作業をしましょう。

※ 裏面もあります。

## 令和5年度道内で発生した物損事故

令和5年度の道内における賠償事故件数は74件（前年度76件）、支払われた保険金額は2,016万2千円（前年度1,922万2千円）であり、このうち草刈り作業中の賠償事故が1,611万2千円と8割を占めている。

令和5年度で最も保険料が高額となった賠償事故は、灯油タンクの配管を切断して油が全て土壌に流れ出たという事故で保険金額は740万円であった。（土壌改良）

就業会員が就業前に現場の状況を点検し（配管のある箇所に目印をつける、配管周りには手刈りする等）就業後に異変がないかの確認をしていけば避けられる事故であった。

## 道外の傷害事故事例

- ① 仕事内容  
公園内の草刈り（一人作業）
- ② 事故の発生状況  
作業前に公園内のジャングルジムで児童が遊んでいたことを認識していたが、こちらには来ないだろうと判断して作業していたところ、突然目の前に児童が現れて、児童の左手親指に草刈り機の刃が接触し、深く切り傷を負わせた。
- ③ 対策  
作業現場に「作業中」及び「立入禁止」の看板を設置する又はバリケードを設置する等の対策を徹底する。
- ④ 現状  
怪我をした児童は、現在も年1回通院しており、医師の診断では暫く成長を見守ることになっているが、該当部分の骨が成長せず将来的には手術が必要になる。

- ・ヒヤリ・ハット体験事例の情報を募集しています。  
あなたが体験したヒヤリとしたこと、ハットとしたことの情報を提供してください。

### 例1

植木の剪定作業中にぬかるんだ地面に脚立を置いて、身を乗り出して作業していたところ、脚立が傾き危うく脚立から落下しそうになった。

### 例2

草刈り（機械）作業中に、複数名で分散して刈り払い機を使いながら、作業をしていたところ刈り進むうちに会員同士が接近し、刈り払い機と会員が接触しそうになった。